



弘化改元次第略注

公

186 1

公事部
第
共

7 3
6281



78
6281

弘化改元次第畧註

地農易文ッレ



去
五味均平蔵





上卿著伏座

上卿トハ大臣ニテモ納言ニテモ當日第一
ハ即チ陣座ナリ元ハ左近ノ本陣ナルカ故ニ陣ノ座ト
云評議スヘキコトアレハ大臣以下參議以上此座ニ著
テ評議ス奥端横切ノ座トテ人々著座ノ所ニサタマ
リアリ

諸卿著陣

西園 権大納言輝弘卿三条大納言實萬卿
一条大納言忠香卿春宮權大夫建通卿山科
中納言言知卿源中納言通理卿源宰相有長卿右
衛門督正房卿萬里小路使別新宰相中將忠能卿等ナリ先
奥座ニ納言以上著カル大臣ト納言ノ間聊絶席
各南面ナリ參議ハ横切ニ西面ナリ著座了テ後
大臣端座ニ移リ著玉フ但左大臣ハ公卿第一ノ人
タルニ依テ一上ト称スル間仰ヲ待スシテ端座ニ



移リ玉フ若一上不参ノ時ハ藏人仰詞ヲ仰セテ
後ノ大臣以下中納言以上イッモ藏人其人端座ニ移リ著カ
ル、事定リタル習ナリ今度ハ
左大臣タル故其儀ナキナリ

次上卿令官人數軾官人ハ陣ノ官人ナリ又陣官トモ云即左近衛ノ將監將曹等ナリ

今度ハ左將曹攝久芳
同源元賢等ノ内歟敷政門ノ内宣仁門ノ外ニ卿陣座ノ官人
ノ座トテ候ヌナリ諸其冥ニ候スル陣官上卿ノ召ニ隨ヒテ
小庭ニ候ス上卿軾ノ支ヲ仰セラル軾ハ管圓座ナリ膝突
書リ官人數政門外ニ出テ掃部寮ヨリ政官侍ノ邊ニ候ス
軾ヲ請取テ小庭ニ敷ク上卿ノ前是辨
外記史中務等著クヘキ料ノ圓座ナリ

次以官人召外記問諸卿參否外記ニ大少權アレハ
是ハ大外記ナリ

師德朝臣師躬朝臣
兩大外記ノ内ナリ其人軾ニ候スレハ諸卿參リタリヤ
ト問ハル其詞家ミノ習ヒ外記參ラル由ヲ申ス多クハ候フ
ト申スモシ

不参ノ人アレハ某卿又某朝臣
ハ候ハスト申ス又不参候トモ
申スナリ諸稱唯等ノコト
アレハ記スコトアレハス

次職事下年彌勘文於上卿職事ハ古代現任人ヨイ
ヘトモ中古以來藏人ト

成レリ是ハ今度奉行ノ藏人頭左中辨光政朝臣ナリ年号勘
文ハ兼日勘者ヨリ註進セラレシ文書ナリ是ヨリ以前勘者宣下
下スハ勘文等ヲ例ノ如ク上卿ノ前ニ持參スルヲ云藏人ハ位
卑シトイヘ氏勅ニ依テ主上ノ御前ヨリ勘文等ヲ持參スルカ
故ニ下スト云仰詞
ト同シ義ナリ

次上卿披見勘文ヲ一ニ披見セラルナリ
作法等シルシカタシ

次職事仰仰詞例ノ如ク上卿ノ側ニ来テ仰詞ヲ仰スルナ
リ其詞定メ申セ
定メ申セヨナト習ヒ同シ

カラス此勘文ノ中ニテ人ノ思ヒニ從ヒテ
定メ申セヨト勅定ヲ傳仰スルナリ

次諸卿見下勘文

見下ハ上卿ヨリ三木マテ次第ニ披見スルヲ云其作法家ノ習ヒアリテ同シカラス

次上卿仰参議令讀之

参木ノ中大辨又式部大輔儒卿ナトアレハ必ス其人ニ讀マシムル事

例ナリ今度其人ナキニ依テ誰トモ定メカタシ又儒卿トハ博士或ハ菅江藤日野南中清ナトノ儒者ノ家ノ卿相ヲ云

次上卿仰可定申由於最末参議

定申ハ各勘文ヲ上ニテ可然号ヲ定

メ申スナリ最末ノ参木ハ中将忠能卿ナリ最初上臈ヨリ見下シ今又下臈ヨリ定メ申スナリ定詞各別ニシルスコトシ

次諸卿自下臈定申

此間返進勘文於上卿事明ラ

次上卿以官人招職吏奏之并返上勘文

諸卿ノ定詞ヲ

奏セシムルナリ其序ニ勘文ヲモ返上スルナリ

次職事歸来仰一同可定申由

歸来ハ上卿ノ座ノ側ニ一同ハ大

臣以下参木以上ナリ始メハ各好ム方ノ号ヲ定メシナリ今ハ一同ニ難陳シテ判決セヨトノ勅旨ヲ傳ヘ仰スルナリ

次上卿召留職事示可議定之由於諸卿

是ヨリ上難陳

也召留職事ハ難陳終ルマテ間近キ便ニ職事ヲ候セシムルナリ多クハ南殿ノ御後又ハ陣後ナトニ候スルカ今度ハ頭弁ナレハ床子ニ候セラレシヤ尋ヌヘシ難陳了ラハ奏聞セン為議定ハスナハチ難陳ナリソノ詞別ニシルス

次奏議定之趣

カノ召留タル職事ヲモテ奏聞セシムルナリ

次職事歸来仰定其何年可為元年任其年例

下

可令作

詔書並恩赦

其何年ハスナハチ天保十
五年ナリ元年ハ今度改元

ノ元年ナリ任其年例トハ天保改元ノ時ノ例ナリ其時モ詔
書恩赦アリシ故ナリ詔書ハ別ニシルス恩赦ハ回祿重疊ノ故
二年号ヲ改テ死罪以下ヲ赦サレ又半
ノ復シ老人僧
居ニ米ヲ給フ等ノ事ヲ云ソモ、内記詔書、清書ヲ
進ムルトキ年月ノ下モノ日ノ字ヲ缺テ奉ル例ナリ
ノ後其カケタル日ノ字ヲ宸翰ニテ添ラル、例ナリ
コレヲ御畫トモ御畫日トモ申ス
諸ソノ御畫アル詔書ヲ
中務ニ給ハリ中務連署シテ太政官ニ送ル外記大臣以下三木
マテノ姓以上ヲ録シテ上臈ヨリ次第ニ加署セシム
大内記ハ為政朝臣
ナリ加署ヲテ覆奏ノ儀アリ其時年月日ノ次ニ宸筆モテ
可字ヲ畫シ給フ也
諸ソノ詔書ヲ寫テ夫
施行スルナリ覆奏ハ後日ナルヘシ

次以官人

召大内記

仰詔書之趣

大内記ハ為政朝臣
ナリ詔書ノ趣ハ

兼原

次内記持参

詔書草

入管

上ニシルス如ク此度改元ニ依テ赦除復徭米穀ヲ給フ
等ノ委細ヲ告知ラシテ詔書ヲ作ラシムル也大内記カ
ノ職ニ著テ上卿ノ命ヲウケ
玉ル也仰詞今知カタシ

上卿披見

詔書草ハ下々書ナリ先草ヲ獻覽アル事
例ナリ本紙ハ強紙ナレ氏草ハ白紙也管ハ

覽管トテ葛管ノ蓋ナリサテ此内記ハ分配トテ少
内記ニ持参セシムル事又例ナリ少外記禹昌少外記
職等兼官ナレハ
西人ノ内ナルヘシ

次以官人

招職事

奏聞畢

仰可清書

由

テ獻覽了

上テ清書

セヨトノ勅命ヲ
上卿ニ傳ヘ仰スル也

次以官人召大内記仰可清書由註スルニ

次内記持参清書入入ル宮

上卿披見此内記モ少内記ニ分配ナリ
清書ノ料紙ハ強紙ナルヘシ

次上卿進弓場内記附職事奏聞畢返給弓場ハ
南殿ノ

西無名門ノ内ニテ弓場始賭射等各弓射ル取ナリ諸奏聞
慶申ナト必此所ニテアル事也上卿詔書ノ清書ヲ宮ナカ
ラカノ少内記ニモタシテ弓場ニ候セラル此時小板敷ノ方
無名門ノ内ヨリ職事出来テ詔書ヲ宮ノマテ請取テ奏聞
ス殿覽ノ後御晝日ヲ加ヘラレ職事ヲ以テ返給ハル也偕又
ソノ詔書ヲ宮ノマテ少内記ニモタシテ本ノ陣ノ座ヘカヘリ
著カル
ナリ

次上卿復仗座内記置管退入仗座ニ歸著ノ事上ニ
シルズ置管退入ハ今マ

テ持シ詔書ヲ宮ノマテ上卿ノ前ニ置テ床子ニ退クナリ少内
記ハ少外記ヲ兼ルニ依テ兼テヨリ床子座ノ脇陣ニ候ス敷政
門外

次以官人召外記問中務輔参否仰可召由外記
ハ大

外記ナリ中務輔ハ大輔行學朝臣ナリ外記ハ公卿以下諸
司ノ催ヲ沙汰スル故ニ一々参否ヲ尋子ラル事諸卿ノ
トキニ同シ外記ヨリ輔候スル由ヲ申スニ依テ其人ヲ召セト
ノ仰ナリ

次中務輔参進軼賜詔書外記内記等参進ノ儀ニ

勢ニ給ハルナリ中務是ヲ請取先卿詔仁親王ノ御方ニ持
参シ加署ヲ申下シ次ニ大輔行學朝臣少輔頼易朝臣各加
署ス但卿以下姓名ノ下ニオノ宣奉行ノ字ヲシルス也

卿ノ下ニ宣大輔ノ夫ヨリ太政官ニ送り
下ニ奉ケ輔ノ下ニ行也
覆奏御書等ノ事上ニシルセリ

次上卿以官人令撤空筥空筥ハカラバコト讀ムヘシモト
詔書ヲ入シ覽筥ナリ中務輔
ニ詔書ヲ給ヒシ
故空筥ナリ

次上卿仰赦事於別當、不在座者召靱負

佐仰之右衛門督正房卿ナリ檢非違使ノ別當ナリ當職ハ其職
マテモ唯判官ト云トキハ檢非違使ノ事ナルハ古来ヨリノ通規ナリ大凡決罰ノ事ハ檢非違使ノ
買務ナレハ長官ニ仰セラレテ夫ノ下知セシムルナリ
今日別當陣座ニ在ル故ニ直ニ仰ラル不在座トハ其座ニ
別當ナキ時ノ事ナリ靱負佐ハ檢非違使ノ宣旨ヲ蒙
タル左右ノ衛門ノ權佐ヲ云檢非違使ヲ
靱負ト云カ故ナリ今度ハ此儀ニ及ハス

次辨覽吉書上卿披見以辨奏聞畢返給辨ハ
藏人

右中弁俊克ナリ覽ハ上卿ノ御覽ニ入ルヲ云吉書ハ何
ニヨラス一會無事ニ遂ケ行ハレシ後禁忌ノ文ナト始テ
取出シ事忌ミシケレハ申文ヲ目出度キ作文ニシテ弁方
藏人方ヨリ持参スル例ナリ臣下ノ家ニテモ吉事ノ今度
後カナラヌアル習ヒナリ
イカナル吉書ニヤ知カタシ多クハ加賀國ノ解文不動倉ノ鈎匙
文内藏寮ノ馬料ノ文ナト也今日ノ弁ハ藏人ナル故直ニソノ
弁ヲ以テ奏聞セラレシ也若藏人ナラサル弁トキハ
官人ヲ以テ職吏ヲ召テ奏聞セラルミナリ

上卿結申辨仰詞結ハカタ子ト讀ム俗ニ云謂取カタツ
ケル義ニテ卷キ収ムル事ナリ若カタ
モノ義歟仰詞ハ依請依請ハ
ト云事例ナリ請申スミニ取計ラ
ヘヨトノコロ也弁ナレトモ藏人ユエニ奏聞シタル
勅旨
ヲツタヘ
仰スル也

次_ニ上卿下_ツ吉書_ヲ於_ニ辨_ニ

辨_子結_ス申_ス

下ハ始弁ヨリ出ス所ノ吉書ヲ奏聞セシユ工唯
今弁ニ下シ給フナリ今ハ弁ノ役ナリ先ニ仰詞ヲ

仰セシハ藏人ノ役ユエナリ結申ハ上ニ
同シ一旦讀見テ卷キ收ムル義ナリ

次_ニ職事下_ス吉書_ヲ

是ハ藏人方ノ吉書ナリ内藏寮
請奏ヲ用ユル事恒例ナリ

上卿結_子申_ス

職事仰_ス

詞_ヲ

如_シ

次_ニ上卿以_テ

官人召_ラ辨_ヲ下_ス之_ヲ

辨_子結_ス申_ス

是又上ノ
コトシ

次_ニ諸卿退出_ス



